



還暦とコロナウィルスと夢

心るさと五城目会 三十期

畑澤成 人(田町出身)



昨年より心るさと五城目会に入会いたしました。早一年！暮れの総会も新型コロナウィルスで中止となり、多くのイベントが出来ず折角入会しましたが皆さんと一緒に会を盛り上げる事ができずイライラが積もるばかりです。そうした中、今年第三十二期役員改選で新任八名の役員が選出されて、私も理事の一人として選ばれました。有難う御座いました。これからも期待に心えられます様一生懸命頑張ってください。宜しくお願い致します。この場をお借りいたしまして挨拶申し上げます。

さて、このコロナウィルスで皆さんの生活時間や仕事内容など、色んな面で変化がお有りではないでしょうか？私はこのコロナウィルス発生前の秋九月頃より約半年を掛け、現在住んでいる家のリホーム計画を行いました。その後コロナウィルスま

事(約六十平方メートル)が終わりまして。自宅は基本二階に住居があり一階は私の趣味でもありますオーディオルームとバーカウンターがあり一般的な住宅とは生活空間が真逆の構成です。丁度、リホーム計画中に、五城目心るさと会の高澤さんよりCNA秋田ケーブルテレビの『県外ロングインタビュー』故郷秋田への想い〜に出演を持ち掛けられてまして九月末に収録、年明け一月四日正月休みに秋田で十一時〜一時間放映されました。その様子は『しくなアプリ』(ビデオ・オン・デマンド)一瞥...現在十五名の方のインタビューがアップされており。十三番目に私がありますので宜しくお願い致します。(をダウンロードして頂ければご覧になれます。

そこでの会話にも私がなぜ現在栃木県に住まいを選んだか、又二階をメインの生活空間にしたかを少しお話しさせてもらいます。特に一階のオーディオルームは趣味のためだけの空間です。私の独占部屋です。笑。大型スピーカーが四セット配置されレコードが約四千枚以上(二も二千枚以上)とバーカウンターを所狭しと置かれています。実は私今年が年男(丑年)六十歳の還暦を迎えます。定年退職後この趣味を生かして日光辺りでジャズバーなどを営みたいと考えていたこの頃で、日光も五城目町と同じで過疎化が進みペンションや別荘、民家などがガラガラの状態に住民を募集しています。そんな中オンラインピック・パッシングというイベントで活性化を図りたいとザ・リッツ・カールトン日光の新設や老舗ホテルがリニューアルされ、これは良い！と思っていた矢先のコロナです。数年ズレたら私も借金地獄を見たでしょう。今思うと一寸先は闇！今年、お盆に還暦祝いで帰れるかも心配な様子が続いています。老いても夢を無くしたらお終いと思えます。このコロナウィルスが収束して大きな夢を抱いている若者達の為にも私達が少しでも力になれることを五城目町の為に残したいと考えています。

最後に、もう一つの趣味が絵を描くことです。職業柄絵を教えています。六十歳から五城目の四季を描いてみたいと思う様になりました。それは昨年より工藤兼雄美さんをはじめ『森づくり県民提案事業』の申請に伴い『もつと森山をもりあげ隊』と山道整備の動きが活発になっております。私達も是非参加して五城目のために!!気持ち負けません。この時期に帰省すらままならない中、何かこれから家でも自分にできる事はないのか？思案した結果が画に五城目を残す。そこにたどり着きました。その一作目は稲穂畑が雄大な森山をバックに夕日に染まる画です。この題材はface bookに福祿寿、渡邊康衛さんの写真から現在下町醸し室HIKOBEEの二階ギャラリーに展示してもらっていますので、お立ち寄りの際は是非ご覧下さい。

私は、古い五城目の町もあえて絵に起こし直して、現代に伝えていきたいとも考えています。白黒写真で見える景色や街並みが再現できたら素敵ではないかと思っています。

(二作目はネコバリの岩の渓流を製作いたしました。数々がまとまりましたら展示会をさせていただきます)

心るさと五城目会

渡部勝利

(九期・紀久米町出身)

新型コロナウィルス前は心るさと会の役員会、行事、野球にほとんど参加してました。また、自治会の会計をしています。新型コロナウィルス感染拡大に伴い、地域の行事も不要不急の外中止になり、今は落ち着くまで頑張って自粛生活で計画通りにはいかなくなりました。

そのために今まで出来なかった事を始めようと断捨離を始めて進みません。のんびりと少しづつやって行きます。

皆さんと心るさとの話しを思いつきりたいです。早く収束する事を願います。

